

よなごびと

| 第45回 |

米子市観光課 観光振興プロデューサー

おおもり みつはる
大森 満晴 さん (写真左)

米子市観光協会

あずま なつみ
東 夏海 さん (写真中央)

ささき ようへい
佐々木 陽平 さん (写真右)



” 米子の魅力を

移住者の視点で発信

“

鳥取県では新型コロナウイルスの影響で厳しい経営が続く全日空から人材を受け入れていいます。米子のさらなる観光振興のため、米子市役所では大森さんを、米子市観光協会では東さんと佐々木さんをお迎えしています。大森さんは米子市観光振興プロデューサーに就任し、飲食店で「はしご酒」を楽しめる企画や米子城の5層の天守に見立てたパフェ「475パフェ」など、米子の新名物を次々と生み出しています。また、客室乗務員の東さんと佐々木さんはSNSを使ってまちの観光情報などを発信しています。

でもある。移住者の目線で、その魅力を具現化したい」と話します。東さんは「米子の人たちが当たり前を感じることに、私たちが感じる価値を発信したい」、佐々木さんは「地元の皆さんのおすすめ情報も教えてほしい」と、それぞれの活動に力を注ぎます。今後について、大森さんは「米子は山と海と温泉がコンパクトに揃っているのので、訪日旅行客が色々なことを一度に楽しむにはちょうど良い」と、海外へのアプローチにも意欲を見せます。また、東さんと佐々木さんは「伝統工芸品や彫刻ロードの情報発信に取り組みたい」と目を輝かせます。米子から全国へ、世界へ、3人はまちの魅力発信の「翼」を羽ばたかせます。

SNSのフォローやコメントが活動の励みになります！



彫刻ロードの情報発信のためのホームページをオープン



475パフェは市内17店舗で展開。ぜひパフェ巡りを。

